



# 情報コーナー



9月定例会で採択された主な政策、制度改正の内容についてお知らせします。  
詳しくは、市報やホームページで確認ください。よろしくお願いします。

## 带状疱疹ワクチン任意接種費用の一部を助成します

带状疱疹の発症や重症化予防、ワクチン接種する市民の皆様の負担を軽減するため、ワクチン任意接種費用の一部を助成します。  
○対象者：令和5年11月1日以降にワクチン接種した市内在住の50歳以上の方

○助成額：生ワクチン 4千円を1回分 不活化ワクチン 1万円を2回分  
※市内医療機関へ直接予約し、接種費用と助成額の差額分を医療機関にお支払いください。

## 省エネ家電に買い替えた場合にポイントを付与します

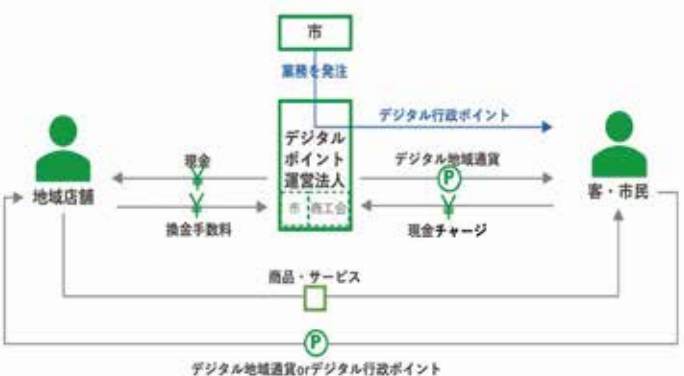
省エネ性能を有するエアコン又は冷蔵庫へ買い替えた場合の費用について、『東村山アインPay(デジタル行政ポイント)』を付与します。

- 対象世帯：既存のエアコン又は冷蔵庫を省エネ性能を有する対象家電に買い替えた世帯
- 対象期間：令和5年11月1日～令和6年2月16日
- ポイントの付与：省エネ家電の購入・設置費用(除く処分費、消費税)の2分の1(1世帯1回、1機器限定)

市内家電販売店(含む量販店)又は電気工事業者で購入した場合	その他市外・インターネットでの購入の場合
上限5万円相当のポイント	上限3万円相当のポイント

○申込方法：オンライン、郵送、秋水園(環境保全課)

### 東村山アインPay(デジタル行政ポイント)の仕組み



## 地域要望で生活道路がきれいになりました。



自治会からの要望で全長186mの道路補修が実現した小平高校北側道路(写真左は平成28年のタウンウォッチングの様子)



東村山市議会議員

# 下沢ゆきお議会報告



vol.12

東村山市萩山町1-32-43  
TEL・FAX ▶ 042-348-8682  
E-mail ▶ contact@shimozawa-yukio.net

清秋の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より暖かいご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症も感染症法上の5類に移行して5カ月を過ぎ、経済社会活動も緩やかに回復しつつあります。しかしながら、現下の物価やエネルギー価格高騰等の影響を受け、市民生活、事業者の経営、地域経済は大きな影響を受けています。

このような中、東村山市議会9月定例会では、令和4年度一般会計決算、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険事業の各特別会計、下水道事業会計利益の処分及び決算の認定、並びに令和5年度一般会計補正予算に係る審議が行われました。

本号では、その審議や一般質問の内容などをご報告いたしますので、ご一読いただければ幸いです。



下沢ゆきお 生活文教委員長  
本会議での委員長報告(10月5日)

引き続き、現下の厳しい状況を乗り越え、安心・安全な暮らしができるよう日々取組んでまいります。皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

東村山市議会議員 下沢ゆきお

## 令和5年9月定例議会を振り返る

○本会議：本定例会では、令和5年度一般会計補正予算に係る審査、条例改定の審議を行う(8月30日、10月5日)。また、9月11日には、議場にて一般質問を行う。本定例会最終日の10月5日に生活文教委員会での陳情審査の結果を議場で報告する。

○生活文教委員会：陳情審査を行う(8月2日、9月14日)。また、当委員会での所管事務調査事項として「中学校での全員給食の実施について」調査研究することを決定した(10月2日)。

○決算特別委員会：令和4年度一般会計決算、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険事業の各特別会計、下水道事業会計利益の処分及び決算の認定に関する審査(担当：一般会計の総括、歳入、討論)を行う(9月22日、25日～28日)。

(審議会等)

○東京都四市競艇事業組合において、令和5年度例月出納検査及び令和4年度決算審査・資金不足比率審査を監査委員として行う(9月29日)。

## 誠実、真心、確かな実行力

東村山市議会議員 2019年初当選 2023年2期目

<所属>  
生活文教委員長  
議会運営委員会委員  
東村山市総合計画審議会委員  
東村山市民生委員推薦委員長

職歴  
経済産業省・中小企業庁職員

地域活動  
南萩会自治会長  
萩山小学校学校運営協議会 会長  
萩山小学校避難所運営連絡会 会長  
萩山ファンクラブ実行委員長  
NPO法人萩山町地域まちづくり 理事長  
東村山市ソフトボール連盟 理事長  
東村山ティーボール連盟 理事  
日本ティーボール協会 理事  
萩山町保健推進員  
東村山市福祉協力員

保護司 中小企業診断士



### 下沢ゆきおプロフィール

みなさんのご意見・ご要望をお聞かせください。

### 令和5年12月定例議会

12月 6日	定例会初日
5日	一般質問
～7日	
11日	常任委員会
～15日	
22日	定例会最終日





議会で取り上げた  
テーマ

# まちづくり・一般質問



日頃から感じている疑問、新たな行政課題への対応など6月定例会では、以下のテーマで質問しました。今後も、市民が安心して暮らせるまちづくりのため、皆様の声を議会で取り上げてまいります。



一般質問する下沢ゆきお議員

## 1. デジタル行政ポイントで地域の活性化と豊かな人生を

### ●ポイント

地域経済の循環への寄与、市民の行動変容・まちづくりへの参画などをねらいとして導入する「デジタル地域ポイント事業」が今年度下期から始まる。この制度の詳細や将来的な姿を市民にしっかりと伝える必要がある。

○デジタル地域通貨及びデジタル行政ポイント事業の進捗を伺う。

**答弁(担当部長)** デジタル行政ポイント事業「東村山アインPay」の地域通貨は、セブン銀行のATMでチャージすることで1%のインセンティブポイントが付与される。また、行政ポイントは、期間限定でのブーストキャンペーンの実施、再生可能エネルギー電力切替等に対する環境ポイントの付与など今後順次検討を進めていく。

○今後のスケジュールを伺う。

**答弁(担当部長)** 運営法人である一般社団法人東村山地域振興機構(市と商工会で設立)が開発するホームページにより、市民への周知や加盟店の募集を行っていく。下半期中の開始を目指して準備中。

○ポイントの給付対象として、再生可能エネルギー電力への切り替えを支援するエコポイントの具体的な内容を伺う。

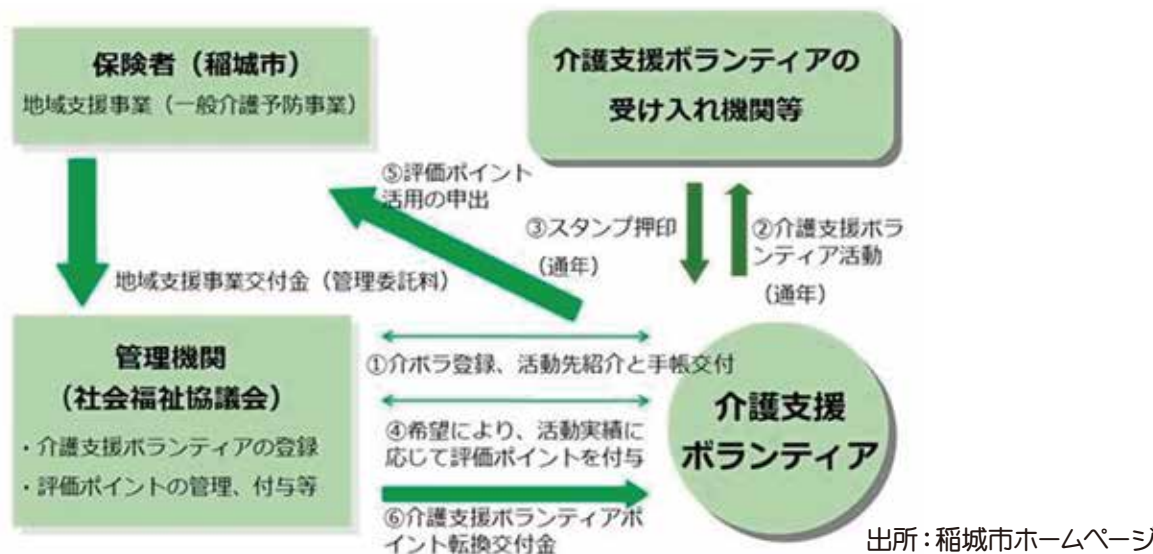
**答弁(担当部長)** 市内の小売電気事業者と省エネ100%の電力契約に切り替え、市の交付決定を受けた者に対して、デジタル行政ポイント1万円相当分が付与される。

○6月定例会で答弁のあったソフトバンクと連携協定による健康ポイント付与の仕組みの検討状況を伺う。

**答弁(担当部長)** スマフォ貸与事業の一環としてアプリをダウンロードし、ウォーキング状況のデータから、高齢者のフレイル対策につなげることを目的とし、ウォーキングの効果を把握し、デジタル施策の展開につなげるもので現在、その結果を分析中。行政ポイント、健康ポイントの活用に連携させるまでには至っていない。

○稲城市では、介護保険法に基づく介護予防事業として、介護支援ボランティア制度を設け、高齢者自身の社会参加活動を通して介護予防の推進を図っている。

### 稲城市の介護支援ボランティア制度



当市でも、地域支援事業交付金を活用して、ボランティア活動を通じた高齢者の社会参加の推進、介護予防、自らの健康増進を図ることで保険料負担軽減等が可能となる同制度の導入を検討すべきと考えるが、見解を伺う。

**答弁(担当部長)** 稲城市の制度は、高齢者自身が支えを必要とする高齢者の支え手として地域活動に参加するその対価としてポイントを付与するもので、地域共生社会の実現に近づく取り組みで、誰もがいつでも住み慣れた地域で役割や生きがいを持って暮らすことができる事業である。

導入にあたっては、行政ポイントを付与する事業の選定、各機関との調整、当市における総合事業の効果、財源も含め、多角的視点で検討する必要があると考える。

○デジタル行政ポイントの対象事業・活動のひとつとして、現在、市長が委嘱して施策への協力や普及啓発を行っている委員活動に対して、謝金ではなく行政ポイントを付与対象とすることも考えられるのではないか。見解を伺う。

**答弁(担当部長)** 謝金については、事業所管と調整していく。

○デジタル地域ポイント事業について、将来的にどのような分野まで広げ、規模的にはどの程度を想定しているのか、市長のお考えを伺う。

**答弁(市長)** 当事業は、地域経済の循環率を高めること、多くの市民に使ってもらえること、そのためには、多くの市内事業者において使えることになる必要がある。商工会と連携し、加盟店の確保をするとともに、市民の理解協力を得るよう努める。

行政ポイントについては、奨励的な補助金にポイントに移行させるとともに、再生可能エネルギー電力切替促進事業など環境分野にとどまっているが、健康福祉分野でも必要なので、全庁的に検討研究していく。規模感としては、地域経済循環の観点から、3年後に年間12億円の流通を本サービスを通しての目標としている。東村山市で暮らす喜びを市民が享受・共有するツールとなるよう努めてまいりたい。

## 2. みどり豊かなまちを将来へつなげる取組を

### ●ポイント

みどり豊かなまちづくりを推進するため、当市では生垣や庭先への樹木の植栽に対する助成を行っている。近年、公園等の樹木の伐採が進む中、将来のまちづくりをどうしていったらいいのか考える必要がある。

○この夏、萩山第二児童遊園ではスズメバチ等多くのハチを見かけたが、市内の公園におけるハチに関する問合せの状況、講じた対策を伺う。

**答弁(担当部長)** 相談件数は、17件、そのうち公園内に関するものは5件で、ハチの巣の撤去、忌避剤の散布、ハチ注意の喚起の掲示を行った。

○ハチが集まる樹液が豊富な樹木はクヌギ等が多く、それらの樹木はナラ枯れの被害に遭っているものも多く、市で安全対策は講じられたものの、根本的な改善までには至っていない。抜本的な対策が必要と考えるが、見解を伺う。

**答弁(担当部長)** ナラ枯れの被害に遭った害樹木は、伐採することが基本。指定管理者と課題共有を図りながら、対応を協議していきたい。

○近年ナラ枯れによる被害樹木の伐採が進められてきている。みどりの保全の観点から、将来に向け樹木の植栽を計画的に進めていく必要があると考えるが、見解を伺う。

**答弁(担当部長)** 危険木の除去の成果を確認し

ながら、手を加える緑、加えない緑など、どのような緑を目指すか目標を定め、公共の緑の植生管理のガイドラインにおける公園、緑地、街路樹など個別プランの策定時に、市、指定管理者、緑化審議会の意見を聞きながら、樹木方針を検討してまいりたい。

○ナラ枯れが発生し、伐採も進んでいる。植林は急がれている。具体的な計画でそのタイミングを伺う。

**答弁(担当部長)** 萩山第二児童遊園は、10年前に比べかなり木は減っている印象。地域の皆様と指定管理者も含め、どのような公園にしたいのか、課題を共有してその後どうするかを検討していきたい。

